



# 窪町だより

窪町小学校令和6年度11月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-ky.ed.jp/kubomachi-ps/>

## 運動会の舞台裏

副校長 小室 敦弘

令和6年度の運動会が10/6に行われました。子どもたちの素晴らしい活躍ぶりは、当日ご覧になった通りです。今回は、あの運動会の舞台裏を、みなさんにこっそりとお見せしたいと思います。

### 会場づくりに汗を流した、教職員

運動会当日の3週間前、放課後にもかかわらず気温30度を超える運動会会場の公園には、10人ほどの教職員の姿がありました。これから始まる子どもたちの運動会練習に向け、地面に印をつける作業を行うのです。普段は公園ですから、印はありません。メジャーを持った複数の教員が、しゃがみ込んで距離を測っています。やっとの思いで50箇所ほどのポイント打ち終えた時は、みななくたくたになった様子でした。

運動会前日の放課後には、教職員全員が会場に姿を見せ、最終のライン引きと準備を行いました。ライン引きは、直線はまっすぐに、カーブは正しい角度で、グラウンドに打ったポイントを目印に引きます。教員全員が心を込めてがんばりました。教員だけではなく、用務主事さんや学童擁護さんをはじめ、事務担当の方々も運動会会場づくりや児童の安全確保のために尽力しました。

### テント設営に早朝集合！運動会サポーターのみなさん

いよいよ当日の朝です。子どもたちより一足早く自宅を出て7時前から会場でテントの設営を始めているのは、父母と先生の会と窪町4団体、保護者バレー、バスケット、卓球、吹奏楽部保護者、かやの木会、地域協働本部などの方々です。テント張りの山場は、おもり置き作業です。4本の柱の足元に、一つ20kgのずっしりとしたおもりを置いていきます。20kgのおもりを一人で運ぶ強者もいます。合計36張、力を合わせて張り終えた時はどの人も満足そうな表情です。輝かしい子どもたちの活躍を陰で支える大人たちのかっこよさを、しみじみ感じる瞬間です。

### 地上の星、地域の方々

地域の方々の子どものための優しい眼差しも、舞台裏の一つです。ある朝、公園でライン引きをしていると地域の女性の方が声をかけてくれました。「先生、ライン引き頑張ってください。私も昔は高校の体育教師でした。子どもたちの活躍が楽しみです。」かつてのご自身の姿と重ね、教員のこと子どもたちのことも、まるごと応援してくれている温かな心に触れ、本当によい街だと思わずにはいられませんでした。

よい街といえば、当日の道路通行止めに快く協力してくださった町会長さんや大塚警察署、テントの片付けを手伝ってくれた本校の卒業生。日曜日にもかかわらず、朝6時30分からフォークリフトでテントやおもりなどを何往復もして運んでくださった同窓会の会長さん。本校を取り囲む方々の、優しい気持ちが心に染み入ります。

今回はほんの一部ですが、舞台裏で子どもたちを支えるかっこよくて温かい大人たちの姿を発信させていただきました。運動会の素晴らしさを、別の角度から味わっていただけたら嬉しい限りです。

## 菊づくりについて

本校では毎年、菊づくりボランティアの方々のご支援を受け、栽培委員が菊づくりに励んでいます。夏休みにも、学校に世話しに来る姿がありました。この後、11月には、栽培委員会が一生懸命育てた菊が全教室に配布される予定です。

5年生も一人一鉢の菊づくりに挑戦しています。火曜日と金曜日は毎回早く登校し、菊や土の状態を見ながら水や肥料をあげ、世話を励みました。5年生が愛情をかけて育てた菊を、10月下旬に湯島天神に搬入しました。11月に行われる文京菊まつりが楽しみです。また窪町小学校の第一のシンボルである菊を、総合的な学習の時間に調べ、一人一人自分の言葉でまとめる活動を行っています。日々、一生懸命取り組んでいる努力が実り、今年も全校が菊で彩られるのが楽しみです。



## 学芸会にむけて

3年に一度の学芸会を12月5日(木)・6日(金)・7日(土)に開催します。台本を読んで、「この役をやりたい。」「この台詞を読みたい。」といった声も聞こえてきました。11月から本格的に練習が始まります。

一人一人が精一杯演技し、みんなで心を一つにして大輪の花を咲かせられるよう頑張っていきたいと考えております。

保護者の皆様にご参観いただくのは

12月7日(土) 8:30~12:25 になります。

当日は入れ替え制の学年優先席があります。

後日、詳細をお知らせいたします。

たくさんの方々のご来場をお待ちしております。



## 3年生 くぼまちタイム(高齢者)

3年生は、2学期のくぼまちタイムで「共に生きる」の学習に取り組んでいます。子どもたちを取り巻く社会には、様々な人がおり、その様々な人々が関わり合うことで社会は成り立っています。今回は、子どもたちにとって身近な「高齢者」に焦点を当てました。お年寄りの体の特徴や、自分達との違いに興味をもち、高齢者疑似体験セットを使っての体験活動を通して様々なことを学びました。この学習をきっかけに、様々な人と共にどう生きていくか、子どもたちと一緒に考えていきたいです。

